

授業科目等の概要

(分野専門課程 スポーツ科学科 昼間Ⅰ部、Ⅱ部) 2025年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			キャリアプランニング	社会人・業界人として必要な一般常識から、就職に向けての書類作成方法や面接の受け方等について幅広く学ぶ。また人と接する仕事をするうえで必要なコミュニケーションスキルから、社会人として必要なマナー等について学ぶことにより、業界研修等に向けての準備として位置づけ、業界人としての心構えを身につける。	1 2 年 年 ・ ・ 通 通 年 年	120	8	○			○		○			
○			ビジネススキル	グローバルな感性を養うとともに、情報処理の知識を習得し国際化に対応できる能力を身につける。	1 年 ・ 通 年	90	6		○		○				○	
○			生理学	人体の機能について、生理学的側面からの基礎を学び説明することができる。	1 年 ・ 前 期	30	2	○			○					○
○			解剖学	全身の筋・骨格系における解剖学の基礎を中心に学び説明することができる。	1 年 ・ 前 期	30	2	○			○			○		
○			運動学	人体の構造や筋・神経系統における力学的側面についての基礎を学び説明することができる。	1 年 ・ 後 期	30	2	○			○					○
○			栄養学	各栄養素についてその消化、吸収、代謝など栄養一般の基礎知識を学び、指導できるようになる。	1 年 ・ 前 期	30	2	○			○					○
○			指導者論	スポーツ指導者として必要となるスポーツ・健康に関する基礎知識や社会の役割について学び指導できるようになる。	1 年 ・ 通 年	60	4	○			○					○
○			社会学	現代社会におけるスポーツの必要性や意義、役割や歴史について学び説明できるようになる。	1 年 ・ 後 期	30	2	○			○					○

○		基礎医学	スポーツ医学に関する知識を学ぶとともに救急処置法の座学、演習を通じて救急処置ができるようになる。	1年・通年	60	4	○	△		○				○	
○		コンディショニング	スポーツマッサージやストレッチング、ウォーミングアップやクールダウンを演習を通じて身につけることができる。	12年・通前期	150	10	△	○		○				○	○
○		エクササイズ基礎	トレーニングの種類や方法、様々なエクササイズを体得し、指導することができるようになる。	1年・前期	150	10	△	○		○				○	
	○	スポーツ科学	基礎運動学で学んだ知識を、実技を通じるにより、その理解をさらに深め説明できるようになる。	1年・後	210	14	△	○		○				○	
	○	機能的解剖学	人体を機能的側面から捉え、筋・骨格系、関節の動きについての理解を深め説明できるようになる。	1年・後	60	4	○			○			○		
	○	スポーツ医学	人体を機能的側面から捉え、筋・骨格系、関節の動きについての理解を深め説明できるようになる。部位別スポーツ障害・外傷について、その発生機序から症状、治療法等について学び、判断できるようになる。	12年・通前期	120	8	○	△		○				○	○
	○	専門的 コンディショニング	テーピングやレジスタンストレーニングで身に付けた基礎となるテクニックをさらに深め、新たなエクササイズテクニックを習得できる。	12年・通後期	270	18	△	○		○				○	
	○	健康管理	健康づくりの基礎知識から、内科疾患に至るまでの基礎知識および健康指導について説明できるようになる。健康の維持・促進のための栄養指導ができるようになる。	12年・通後期	90	6	○			○				○	
	○	フィットネス総論	JAF A各種資格に必要となるフィットネス基礎理論およびグループエクササイズ指導理論について説明できるようになる。健康の維持・増進のための栄養指導ができるようになる。	2年・通年	60	4	○			○				○	
	○	健康・フィットネス演習	子どもから高齢者まで、幅広い対象者の健康を支えていく為の知識を学び説明できるようになる。	2年・通年	270	18	△	○		○				○	
	○	エクササイズ演習	スタジオプログラムやグループエクササイズで必要となるコンディショニングにういて実技を習得できる。	12年・通後期	150	10		○		○				○	

○		リラクゼーション	コンディショニングスキルのひとつであるリラクゼーション法についての基礎知識を学び説明できるようになる。	1年・後期	60	4	△	○		○				○	
○		ビジネス論	スポーツ業界を支える職種を知り、またその業務内容やシステムについての基礎知識を学ぶ。	1年・後期	30	2	○			○				○	
○		ビジネス基礎	社会人として必要なビジネススキルについて基礎から応用まで幅広く学び、社会人としての身構え・心構えがつく。	1年・後期	30	2	○			○			○		
○		スポーツビジネス総論	スポーツに関連するマーケティングについて、その基礎的知識から事例を通じて幅広く学び、マーケティング力が身につく。	12年・後通期	210	14	○	△		○				○	
○		スポーツビジネス演習	スポーツに関連するマーケティングについて、その基礎的知識から事例を通じて幅広く学び、マーケティング力が身につく。	12年・後通期	120	8		○		○				○	
○		グローバルプログラム	国際化に対応できるよう、日常やビジネスなどあらゆる場面において必要となる語学スキルを学び、幅広いコミュニケーション力を養う。	12年・後前期	120	8	○	△		○				○	
○		情報技術	Microsoft Word、Excel、のMOSスペシャリスト検定合格に向けて、学びパソコンスキルを習得できる。	2年・通年	60	4		○		○				○	
○		宿泊実習	宿泊実習を通して、各知識や専門的スキルの更なる向上を目指し、指導できるようになる。	2年・通年	60	2				○			○	○	○
○		特別講義	業界の方々から様々な知識を得ることにより、自身の将来設計について考えるとともに、気づきを得る。	2年・通年	60	4	○			○				○	○
○		卒業制作	2年間の集大成として各自各グループでテーマを設定し課題に取り組む。最終的に各グループ全てが学内でプレゼンテーションを行うことで自主性を養うことができる。	2年・通年	90	6		○		○			○	○	○
○		健康運動実践	健康づくり事業財団認定の「健康運動実践指導者」資格試験対策を行う。	2年・通年	90	6		○		○			○	○	
				30科目	単位時間(194単位・2940時間)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等
------------	-------

授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の結果、履修状況等を総合的に勘案して行い、校長は課程修了の認定を行う。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。